

2014年5月30日

各 位

旭化成せんい株式会社

「ベンベルグ™」増設設備の竣工・稼働について

旭化成せんい株式会社（本社：大阪市北区、社長：高梨 利雄）では、再生セルロース繊維（キュプラ繊維）「ベンベルグ™」の増設工事を、宮崎県延岡市で進めてきましたが、このたび、5月29日に竣工式を行い、6月1日から商業運転を開始しますのでお知らせいたします。

1. 背景

「ベンベルグ™」は、コットンリントー※を原料とする再生繊維で、さわやかな着心地や優しい肌触り、天然原料由来ならではの環境適合性などを活かして、現在、高級スーツなどの裏地から、アウター・インナー・寝装・スポーツなど幅広い用途で展開されています。

近年、機能性インナーやインドの民族衣装向けなどで販売量が増加し、今後も新興国をはじめとする需要の拡大が見込まれることから、設備の増設を決定し、建設を進めてきました。なお、今回の増設によって「ベンベルグ™」の生産能力は約10%増加することとなります。

当社では、今後もグローバルなマーケットの拡大に応じて、更なる設備増設と生産体制の高度化を進め、供給体制の強化を図っていく予定です。

2. 増設の概要

- (1) 立 地：宮崎県延岡市（旧エステル工場跡地内に建設）
- (2) 生産品目：再生セルロース繊維（キュプラ繊維）「ベンベルグ™」
- (3) 工 期：2013年4月着工、2014年5月竣工
- (4) 投資額：約30億円
- (5) 生産能力：既存設備－長繊維で約15,000トン/年、短繊維を約2,000トン/年
生産する糸の構成により変わるため限定できないが、今回の増設により約10%の能力増加となります。

※コットンリントー…綿花の種子を包むうぶ毛状の短繊維。



ベンベルグ増設設備外観

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

旭化成株式会社	広報室	03-3296-3008
旭化成せんい株式会社	ベンベルグ事業部	06-7636-3499